

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院 HCU に入院された患者さんへ

和歌山県立医科大学附属病院では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

急性期病棟におけるドレーン・チューブ類の計画外抜去に至る要因検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院 HCU 看護師 森下 正樹

3. 研究の目的

当院 HCU ではドレーン・チューブ類の予定外の抜去が年間 40 件程度発生しています。予定外の抜去が起こると、治療の中断や再留置による苦痛を与えることにつながります。本研究ではドレーン・チューブ類の予定外の抜去の要因を明らかにし、今後の対策を検討し、安全・安楽な療養環境の提供につなげていくことを目的としています

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2021年4月1日から2022年3月31日までの期間に当院のHCUに入院した患者さんのうち、ドレーン・チューブの予定外の抜去が発生した患者さん及び8日以上HCUに入室していた患者さん

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者さんの基本情報(性別、年齢)、入院期間、入院前の状態、入院時の状態、ドレーン・チューブ類の予定外の抜去の有無、身体拘束や薬剤投与の有無などに関する情報です

(3) 方法

上記のデータを電子カルテから収集し集計して分析します

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません

7. 資金源及び利益相反等について

研究責任者・分担研究者の研究期間の研究に係る報告すべき利益相反はありません

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学附属病院 HCU 看護師 森下 正樹

TEL : 073-447-2300 内線 2435